

# 生活改善につながる要求を作るために 年末年始 23 春闘アンケートにご協力を

2023 春闘に向け、要求作成のためアンケートを実施しています。春闘ではベースアップ(ベア)、一時金に加えて、生活が改善できるように各種手当も要求していきます。裏面がアンケートになっています。率直な意見をお寄せください。

## 物価高騰に対応したベアを

JAL グループのベアは 2018 年を最後に見送りが続いています。23 春闘では政府も企業側も賃上げの必要性を認めています。日銀の調査では国民の実感としての物価上昇率は平均 10.3%にのぼるとしています。全労連では生活改善分を合わせて 10%以上の賃金引上げを統一要求とし、連合でも定昇合わせて 5%の賃上げ要求を掲げています。

JAL 経営の考えは「基本的に物価上昇、経済動向、会社の経営の状況、それから長期的な人件費の動向を踏まえて判断していく。経団連の方針も認識している」「物価上昇したときに、航空券の価格も上がれば賃金も上げやすい」というもの。経団連もベアが必要と言っていますし、航空券の単価も上がっています。4 年ぶりのベアにこれまで見送られていた分もまとめて乗せてもらいましょう。

## 夏の一時金の要求を春から検討し 会社に伝える理由とは

### 23 春闘 JAL グループ 全社員アンケート



内容はこの用紙の  
裏面と同じです

コロナ前までは、会社が通期見通しに連動した夏、年末、期末の 3 回払いの一時金を示していました。JLU では一時金は都度の交渉で決定するものとして、そのやり方を認めませんでしたが、他労組では受け入れているところも。春に年間で要求する労組にあまりにも低い係数を出されないように、その前から社員がどれだけの一時金を求めているか声を集め、宣伝する必要があります。今、インフレ手当を支給する企業もあるほど物価高が急激に進んでいます。年末一時金が支給されたばかりですが、夏に必要な一時金をイメージしてアンケートにお答えください。

## JAL 賃上げの推移

	要求	ベースアップ
2015	5%	2,000円
2016	7%	1,000円
2017	5%	1,000円
2018	4%	3,000円
2019	4%	1,000円
2020~22		見送り

## 声をあげてきたから今がある

年度	組合が主張して改善されたもの
2015	・帰宅旅費改善(オフライン空港の場合新幹線を認める) ・成田/羽田で訓練時の宿泊を認める
2016	・一時金のマイナス査定がなくなる ・賃金体系変更 定昇率アップ ・確認主任者手当増額(一機種目5000円→10000円など) ・シフト手当改善(深夜労働20時間以上で1万円追加支給)
2017	・55歳以上でも昇格・昇給が可能に ・勤務態様変更(シフト勤務の公休増)
2018	・単身赴任の対象家族拡大(配偶者を扶養していなくてもOKに) ・転勤の発令タイミングが2か月前に ・時間年休の取得を認める
2019	・単身赴任手当増額(44000円→50000円) ・単身赴任帰宅旅費で地上交通費も支給 ・AFRS手当の変更(機種毎の支給に) ・インフルエンザ補助 ・国際線STのWEB発券 ・大阪への拠点変更
2020	・ゆかり人事 ・自動車購入補助(30万円)を支給 ・借上げ社宅でのペット飼育可
2021	・シニアスペシャリスト 時給制が月給制に ・特目の改善(2年間トライアルで私傷病での1日単位取得) ・ワクチン接種翌日の特別休暇を認める
2022	・国内転勤の下見時、配偶者の交通費も支給



不満に思っている、会社に伝わらないと変わらない  
23 春闘でこだわりたいことをアンケートへ